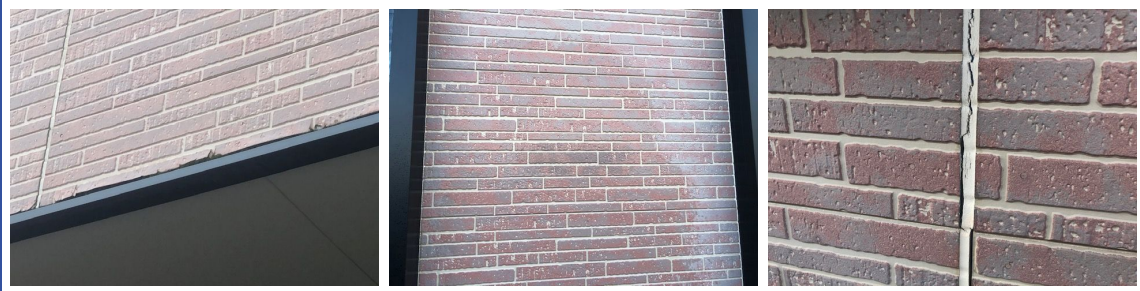


# 外壁・その他塗装工事



着工日  
完工日  
作成日



ベストホーム株式会社  
北九州市小倉南区徳吉南1丁目1番16号

外観



外観



外観



## 外観

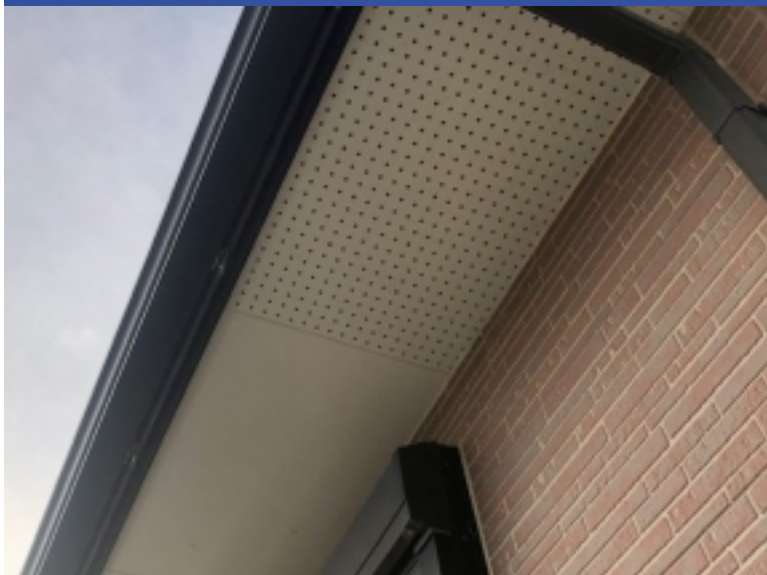


## 破風・鼻隠し



経年劣化しています。  
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。

## 軒天



経年劣化しています。  
この部分は、通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。

## シャッターボックス



こちらは鉄・スチール素材になります。劣化進むと腐食やサビの発生がしてきますので、劣化が進む前のメンテナンスをお勧め致します。

## 小庇

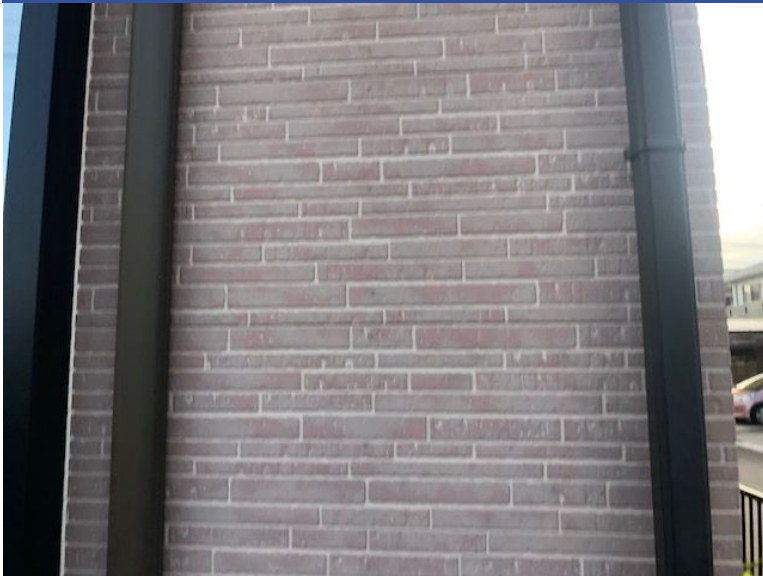


**対処方法**  
サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理を行い塗装をしていく必要があります。

## 水切り

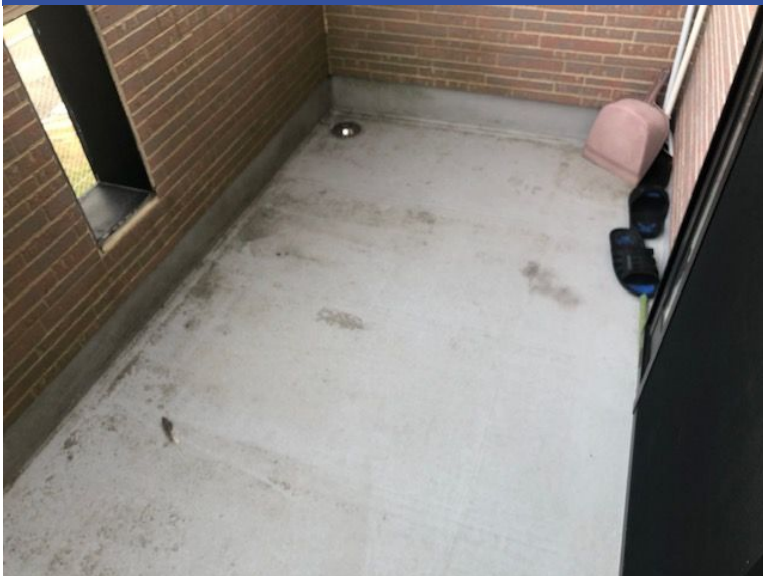


## 雨樋



この部分は塩ビ素材になります。  
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。

## ベランダ



経年劣化しています。  
劣化が進むと雨漏れの原因にもなりますので、雨漏れする前の保護塗装をお勧め致します。

## ベランダ



## 木部



経年劣化しています。こちらも塗装をおこないます。

## 基礎



アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。

## 基礎



※0.3mm以上のクラックは、シーリング材等での補修が必要になります。

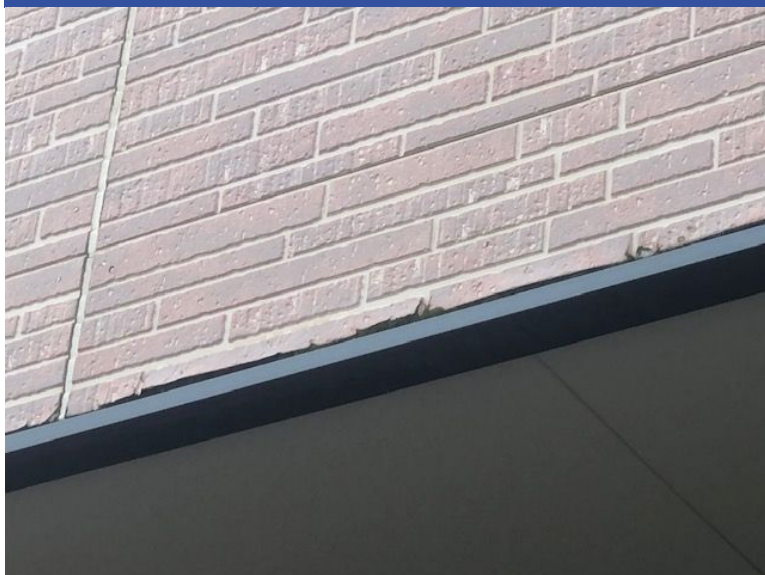
## 意匠性外壁部 現状



意匠性を活かすため、クリヤー施工のご案内をさせていただきます。

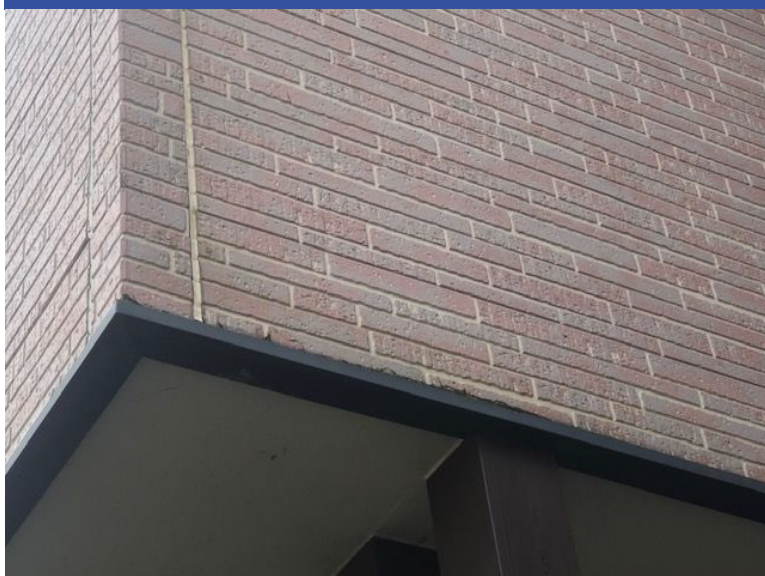
※経年劣化により、クリヤー塗装の仕上りの差がでる可能性があります。

## 意匠性外壁部 現状



サイディング材の欠け等が見られます。この部分はクリヤーの場合補修が出来ず、このままの仕上りになります。※膜が付いた状態になりますので、問題はありません。

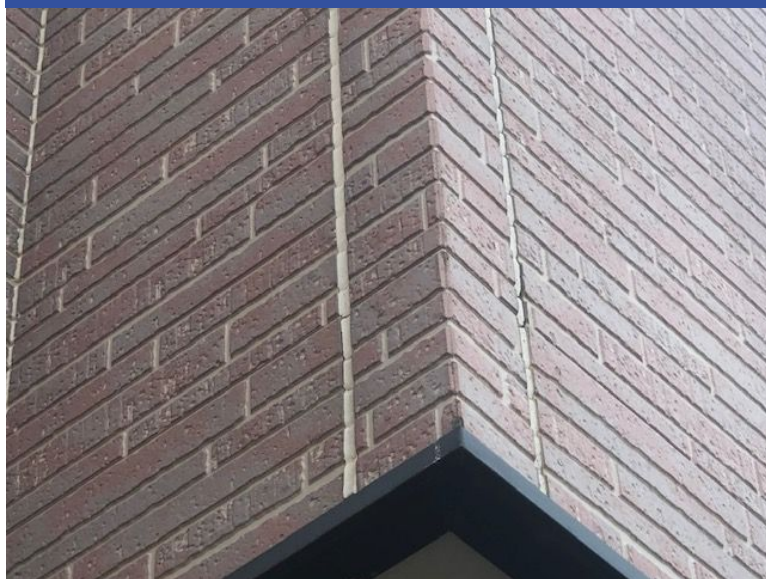
## 意匠性外壁部 現状



同上

※塗りつぶし塗装の場合は、劣化部も既存部分も全体的に同じ色になります。

## 意匠性外壁部 現状



塗膜の表面が劣化し、全体的に色褪せ等が見られます。  
この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。

## 外壁 チョーキング現象



紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。  
この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。

## 外壁 相じゃくり



サイディングとサイディングとの隙間部分ですが、この部分は新築当初から隙間が開いており水切りと同様に建物内の湿気が逃げる構造となっております。  
塗装施工時の埋まったり隙間が開いたりする状態になりますが、建物の為には埋める必要はありません。

### ボードシーリング劣化部



劣化している部分があります。  
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、劣化が進む前の早めのメンテナンスをお勧め致します。

### ボードシーリング劣化部



クリヤー施工の場合は、シーリング材の上に塗装をするとひび割れや剥離など不具合が生じますので、全面シーリング後打ちをおこないます。

### ボードシーリング劣化部



シーリング打替え部は露出する形になりますので、外壁塗装の耐久性に合わせて、オートン化学のオートンサイディングシーラント又はイクシード15を使用します。

※番地プレートは脱着します。

### サッシ廻りシーリング部



サッシ廻りも劣化しています。この部分は深く撤去の際にサッシや外壁を痛めたり、打替え後に雨漏れしてくる場合がありますので、打増しをおこない塗装をしていきます。

※現状雨漏れしている場合は、打替え施工が必要になります。

### サッシ廻りシーリング部



同上

### 入隅シーリング部



同上

## 外壁 カビ発生部



クリーナー施工の場合、高圧洗浄で取り除けないカビ部分は、外壁材を傷めない程度に、シンナー拭き等で可能な限りカビを取り除いて、クリーナー施工をおこないます。

## 外壁 カビ発生部

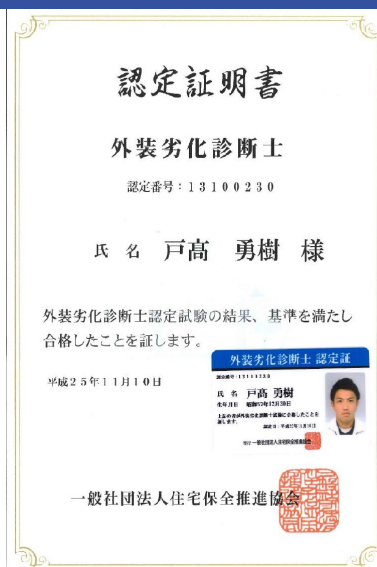


※塗りつぶし塗膜の場合  
カビの上にくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。

### 対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。

作成者：戸高 勇樹



劣化診断士  
認定番号：13100230